

皆さまのご支援・ご協力ありがとうございました

令和4年度 赤い羽根共同募金最終実績 (実施期間:令和4年10月1日～令和5年3月31日)

募金種別	目標額 (円)	募金額 (円)	達成率 (%)
戸別募金	31,000,000	27,732,986	89.5
法人・個人大口募金	9,200,000	7,474,200	81.2
学校募金	1,400,000	1,192,292	85.2
街頭募金	500,000	448,063	89.6
職域募金	400,000	416,145	104.0
イベント・窓口募金等	500,000	1,030,143	206.0
合 計	43,000,000	38,293,829	89.1



感染症対策を徹底して
街頭募金を実施



令和3年度に引き続き、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、例年のような募金活動の実施が困難な状況でした。しかし、このような状況下でも、町内会やボランティアの方々のご協力により、市民の皆さまから温かいご寄付をお寄せいただきました。

お寄せいただいた募金については、市内の生活課題や地域課題を解決するためのさまざまな福祉活動のほか、県内の社会福祉施設への支援や災害時における「災害ボランティアセンター」の設置・運営など、被災地支援にも役立てられます。

令和5年度につきましても“じぶんの町を良くするしくみ”に引き続きご協力よろしく願いいたします。

多額のご寄付をいただいた法人・個人の皆さまに、県共同募金会長から感謝状が贈呈されました。

一宮市民生児童委員協議会 / 一宮市職員労働組合 / 有限会社マガジン /

株式会社マサノ / 株式会社星和 ミカドグループ /

学校法人愛知真和学園 大成中学・高等学校 / 一般社団法人一宮市医師会 /

愛知県美容業生活衛生同業組合一宮支部 / 大野哲男 / 鈴木日出男 (敬称略・順不同)

一宮市共同募金委員会

知っておこう!

災害ボランティア活動の前に



災害が起きた際、復旧・復興にボランティアの力は欠かせません。南海トラフ地震では、被災地域が広域になることが予想され、遠方からのボランティアが都市部(名古屋市など)に集中し、周辺地域でボランティアが不足するのではと不安視されています。

そこで頼りになるのが、地元ボランティアです。経験者・未経験者を問いませんので、いざというときは、ぜひその力を貸してください。老若男女問わず活躍の場はあります!

一宮市では、災害VC*の設置は行政、運営は民間(社協)で行う「公設民営型」となっています。発災後、災害VCからの情報発信は社協ウェブサイトを活用する予定です。活動をお考えの方は事前の情報確認をお願いします。遠隔地での災害ボランティア活動に参加する際も、必ず現地ボランティアセンターの情報を、ウェブサイトなどから確認するようにご注意ください。電話での問い合わせが多くなると、被災地の大変な負担となります。災害VCの負担軽減にもご配慮をお願いします。

※災害VC・・・災害ボランティアセンター

138sk

検索

